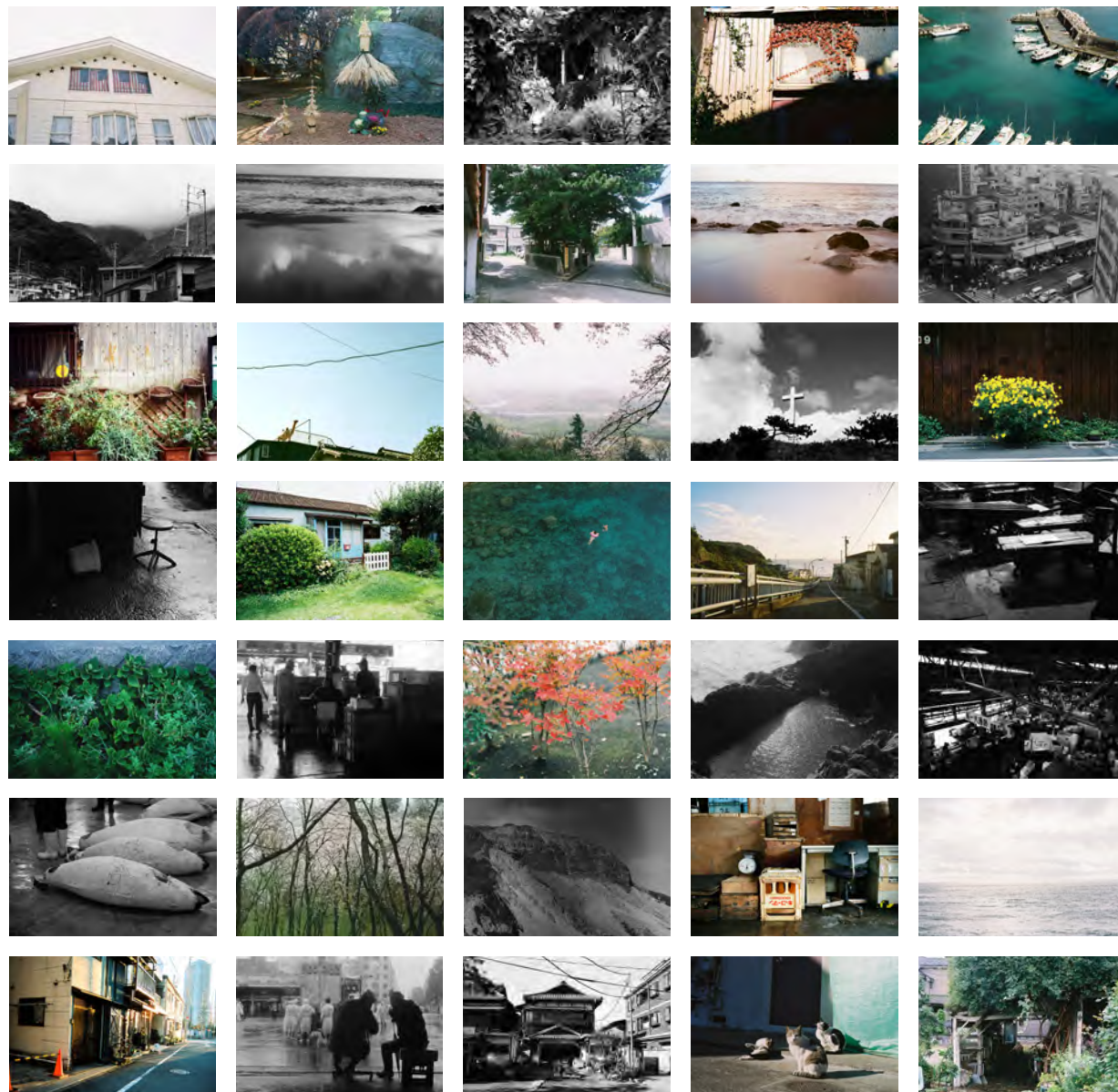




東京観光写真倶楽部写真展

Tokyo Sightseeing Photo Club Photo Exhibition

「わたしの東京」

my tokyo 2013

2013年3月13日(水)～3月18日(月)

東京都庁南展望室

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

東京都庁第一本庁舎45階 南展望室

開場時間：3月13日・・・13:00～17:30

3月14日～17日・・・9:30～17:30

3月18日・・・9:30～16:00

(展望室へ上るエレベーターは終了30分前まで)

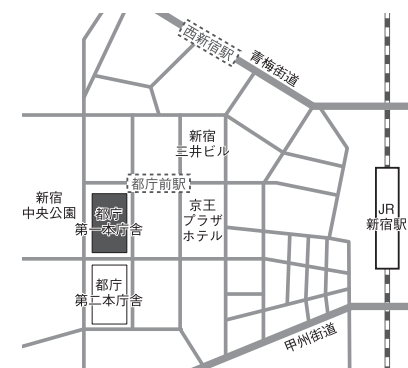
入場無料

主催：東京観光写真倶楽部

後援：公益財団法人東京観光財団

協賛：日本写真学院

協力：株式会社アイデア・アート、株式会社クロゴ



第一本庁舎1階より、南展望室専用エレベーターをご利用下さい。



「わたしの東京 2013」

写真とは、まさに光を観ること ―《観光》そのもの―

『東京観光写真倶楽部』は写真家・菅原一剛氏を部長に擁し、2005年10月に活動をスタート。活動開始以来、東京のあちこちを観光しながら写真を撮り続けています。

「わたしの東京 2013」展は、2009年11月、2011年3月、2012年3月に同じ東京都庁展望室で開催した展示に続く「東京観光写真倶楽部」第4回目の写真展となります。

展示されるのは、都内各地で行われた〈撮影会〉で部員が撮影した写真です。

部活動の中心でもあるこの撮影会では、撮影地となる街に参加者全員が散らばり、それぞれのペースで街を観光しながら写真を撮影します。参加者が撮影した写真は菅原氏によってセレクトされ、撮影地の名前がついた“写真群”となって、倶楽部のウェブページで公開されます。

この“写真群”を形づくっているのは、もちろんそれぞれの部員の眼がとらえた、『ひとりひとりの写真』です。ただ、複数の〈眼〉によって見つめられることで初めて、ひとりの撮影者だけではとらえきれなかったその場所の魅力のようなものが、浮かび上がっているように感じています。

個々の撮影者の〈一枚の写真〉の持つ力と、それらが《ひとつのかたまり》になったものの持つ力・・・そのどちらをも感じることができる新たな写真体験に、わたしたちはひとつの大きな可能性を感じています。

展示写真は全てフィルムで撮影されました。そして、モノクロ作品は銀塩印画紙でのプリント、カラー作品はインクジェットプリンターでの出力となります。

モニターやパソコン画面上で写真を観ることが多くなったデジタル写真全盛の今だからこそ、〈プリント〉という実体を持った形で、写真が本来持っている魅力に触れていただける展示にしたいと考えています。

〈わたし〉という眼の集まった〈わたしたち〉でとらえることの出来た〈東京の光景〉。今回の写真展でも、そんな〈わたしたちの東京〉の写真の中から〈あなたの東京〉を見つけていただければと願っています。

東京観光写真倶楽部

写真展「わたしの東京」に寄せて

東京に生まれて、東京に暮らす人々にとっての〈東京〉。
今、東京に暮らす人々にとっての〈東京〉。
東京で仕事をするという人々にとっての〈東京〉。
地方から、海外から、観光で来られた人々にとっての〈東京〉。
日本の首都、イメージとしての〈東京〉などなど。

このように〈東京〉という街は、とても多くの顔を持っています。ところが、その多くの顔のすがたたちが、他の都市と比較しても、不思議とはっきりして来ないのです。もしかしたら、そんな掴み所がない感じもある意味〈東京〉そのものでもあるのかもしれませんが。しかし、ばくは長い間そんな〈東京〉の本当のすがたをしっかりと見てみたいと思っていました。

2005年に、いくつかの偶然と必然が重なって、この「東京観光写真倶楽部」という写真倶楽部が始まりました。そしてその時、数十名の部員さんが同じ時間に同じ場所で各々の眼差しによって撮影した写真たちの中に予てよりばくが見てみたいと思い描いていた〈東京〉のすがたをかなりはっきりとしたかたちで確認することが出来たのです。

そのようにして始まった「東京観光写真倶楽部」ですが、2009年には三宅島、2010年は大島・式根島・新島・利島、2011年は御蔵島、そして2012年には神津島へと「東京諸島」と呼ばれている島々の撮影に夢中になっています。すると、そんな「品川ナンバー」を付けている小さな島々の中にも、もうひとつの〈東京〉を見つけることが出来るのです。しかもそのちょっと離れた〈東京〉のすがたはほとんど懐かしくて、ある意味とてもあたたかい町〈東京〉そのものなのかもしれません。

そのように、驚くほどに様々な表情を持つ〈東京〉ですが、一人一人にそれぞれの「わたしの東京」が見つかりますように。

菅原一剛

【菅原一剛氏プロフィール】

1960年生まれ。大阪芸術大学芸術学部写真学科卒業後、早崎治氏に師事。フランスにて写真家として活動を開始して以来、数多くの個展を開催。また撮影監督を務めた映画「青い魚」は、1996年ベルリン国際映画祭にて正式招待作品として上映された。2005年には、アニメ「蟲師」のオープニングディレクターをつとめるなど、その活動領域は、従来の写真の領域を越え、多岐にわたる。2011年開校「日本写真学院」主任講師。www.jcop.jp 近著に「写真がもっと好きになる。」「写真がもっと好きになる。写真を観る編」写真集「DUST MY BROOM」等。2012年12月には、10年間毎日撮影し、ウェブで公開し続けてきた写真をまとめた「今日の空」を上梓。

東京観光写真倶楽部概要（2013年2月現在）

□ ウェブページ：http://tokyophoto.ne.jp

□ 所在地：〒153-0061
東京都目黒区中目黒 2-8-3 山本ビル
ストロベリーピクチャーズ内
電話：03-5725-8325
FAX：03-5725-8326

□ 所属部員数：約 100 名

□ 撮影会開催回数：49回

□ 撮影会開催地：（複数回訪問している場所有り）

築地、秋葉原、小金井公園、浅草、両国、奥多摩、
明治神宮、千鳥ヶ淵、原宿、新宿、月島、六義園、
大國魂神社、合羽橋、上野、日本橋、高尾山、小石川、
吉祥寺、野山北・六道山公園、巣鴨、神田、深大寺、
小峰公園、湯島、三鷹、根津、谷中、檜原村、
滝山城址公園、福生、深川、靖国神社、
東京諸島（三宅島、大島、式根島、新島、利島、御蔵島、神津島）

□ 倶楽部沿革

2005年10月 ・第1回撮影会を築地にて開催

2006年 4月 ・ウェブにて部員募集開始
5月 ・第1期活動スタート

2007年 5月 ・第2期活動スタート
・ウェブページ内の「部室」で活動開始

2008年 5月 ・第3期活動スタート
12月 ・ウェブページ内に「東京観光写真ストア」をオープン

2009年 3月 ・三宅島撮影会を皮切りに「東京諸島シリーズ」撮影開始
5月 ・第4期活動スタート
11月 ・第1回写真展「わたしの東京」を都庁南展望室にて開催

2010年 5月 ・第5期活動スタート
2011年 3月 ・第2回写真展「わたしの東京2010」を
都庁南展望室にて開催

5月 ・第6期活動スタート
2012年 3月 ・第3回写真展「わたしの東京2012」を
都庁南展望室にて開催

5月 ・第7期活動スタート
2013年 3月 ・第4回写真展「わたしの東京2013」を
都庁南展望室にて開催予定

【写真展に関するお問い合わせ】

ストロベリーピクチャーズ：03-5725-8325